

## 第三次所沢市市民医療センター改革プラン令和3年度実施状況点検・評価報告書

- 1 第三次所沢市市民医療センター改革プランは、平成 29 年 3 月、平成 29 年度から令和 2 年度までの経営に係る計画として、策定いたしました。

しかしながら、令和 2 年度において、新型コロナウイルス感染症が拡大し、その対応を最優先するとともに、状況が大きく変化したことから、同プランを令和 4 年度まで延長し、令和 3 年度、4 年度の目標値を設定しています。

今回は、令和 3 年度の実績をもとに、下記評価区分により、評価を行っています。

評価区分	内容	判断基準・評価の視点
A	目標達成	目標が達成できている。 目標達成に向けて成果が出ている。
B	目標をほぼ達成	目標がほぼ達成できている。 前年度の取組内容から改善・充実が図れている。
C	現状維持、取り組みを実施中	ある程度成果は出ているが、目標を下回っている。 前年度に引き続き取り組みを実施している。
D	目標を達成していない	成果が出ず、目標を大幅に下回っている。
E	未実施又は達成割合が非常に低い	未実施。 目標達成に向けた効果が認められない。 課題の解決に至っていない。

2 (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの

年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
経常収 支比率 (%)	目標値		97.6	99.3	103.3	103.6	103.6	103.6
	実績	96.9	95.3	97.6	98.3	110.3	95.6	
	達成率 (%)		97.6	98.3	95.2	106.5	92.3	
	経常収益に 占める一般 会計からの 繰入金割合 (%)、金 額)	20.9 (%)	20.7 (%)	21.5 (%)	21.2 (%)	46.2 (%)	21.4 (%)	
		366,640 (千円)	366,358 (千円)	383,680 (千円)	392,418 (千円)	933,017 (千円)	393,320 (千円)	
実施状況	経営の健全性を示す経常収支比率は、医業収益が増加したものの、一般会計からの繰入金が減となったことにより、前年度から比べると 14.7%減の 95.6%となり、目標値には達しませんでした。							
年度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
医業収 支比率 (%)	目標値		77.8	79.3	83.8	84.1	84.1	84.1
	実績	76.5	75.6	77.0	77.7	59.2	74.8	
	達成率 (%)		97.0	97.0	92.6	70.3	88.9	
	実施状況	医業収益は、前年度に比べて、入院患者数は 14.7%、外来患者数は 38.4%、人間ドック等の受診者数は 57.0%の増となり、大幅に増額となりましたが、目標値には達しませんでした。						

【実績値の算出方法】

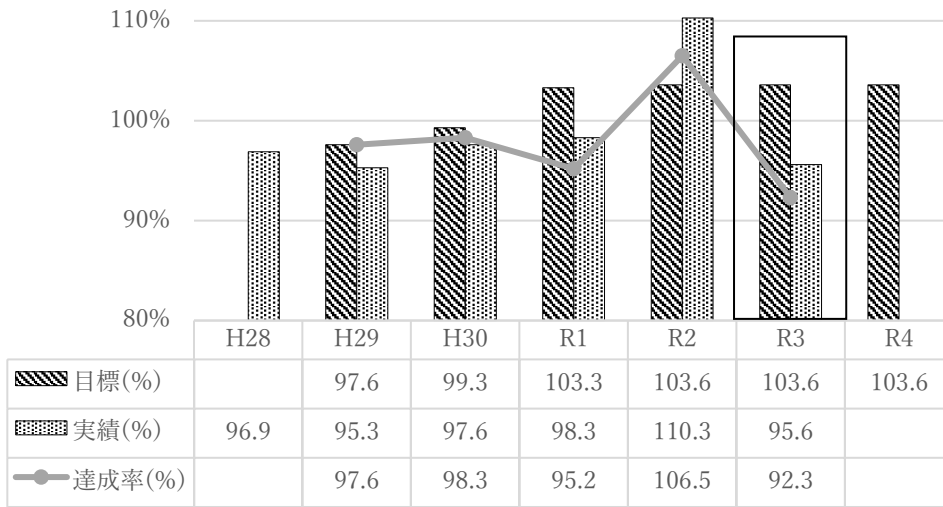
$$\text{経常収支比率} = \left( \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \right) \times 100$$

$$\frac{1,837,971,179 \text{ 円}}{\text{医業収益} + \text{医業外収益}} \quad \frac{1,922,097,572 \text{ 円}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}}$$

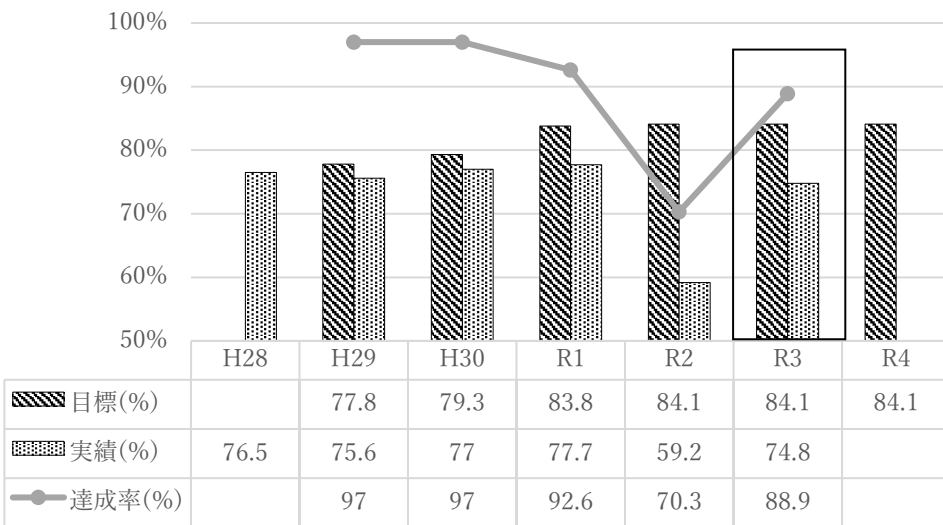
$$\text{医業収支比率} = \left( \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \right) \times 100$$

$$\frac{1,401,652,923 \text{ 円}}{\quad} \quad \frac{1,873,001,911 \text{ 円}}{\quad}$$

### 経常収支比率



### 医業収支比率



意見	評価
<p>コロナ禍という面はあるが、経常収支比率・医業収支比率ともに、目標値を下回っており、Cと評価する。</p> <p>目標を達成できなかった原因を分析する、部門ごとに分けて考えるなど、医業収支について細部の分析を行う必要がある。</p>	C

② 経費削減に係るもの

年度		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4
項目		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
職員給与 費比率 (%)	目標値		72.8	74.2	70.3	69.8	69.8	69.8
	実績	75.3	74.7	76.2	75.0	97.7	76.3	
	目標値 との差		△1.9 <sup>ポ</sup>	△2 <sup>ポ</sup>	△4.7 <sup>ポ</sup>	△27.9 <sup>ポ</sup>	△6.5 <sup>ポ</sup>	
	実施状 況	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した患者数及び人間ドック受診者数等が回復傾向にあり、医業収益が前年度から増加したことから、前年度に比べると、目標値との差は縮まりました。						
年度		平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4
項目		年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
後発医薬 品使用率 (%)	目標値		71.0	74.0	77.0	80.0	80.0	80.0
	実績	70.1	78.1	81.2	83.7	83.4	87.3	
	達成率 (%)		110.0	109.7	108.7	104.2	109.1	
	実施状 況	後発医薬品使用率は、効率的な医薬品の使用について薬事委員会において審議し、採用薬の整理と後発医薬品へ切り替えを進めていることなどにより、目標値を達成しています。						

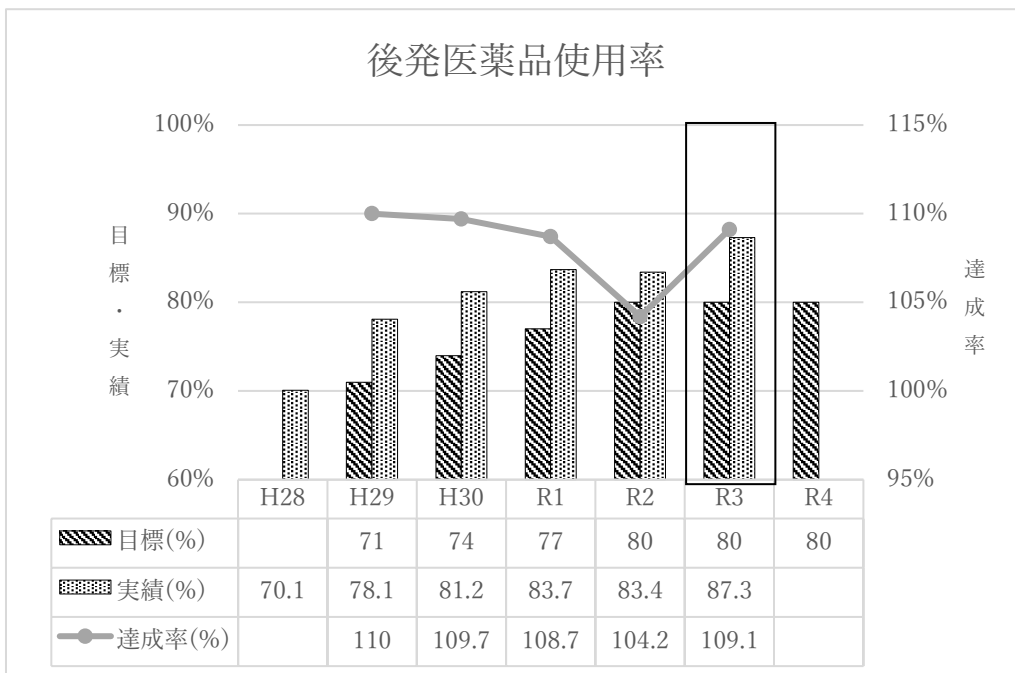
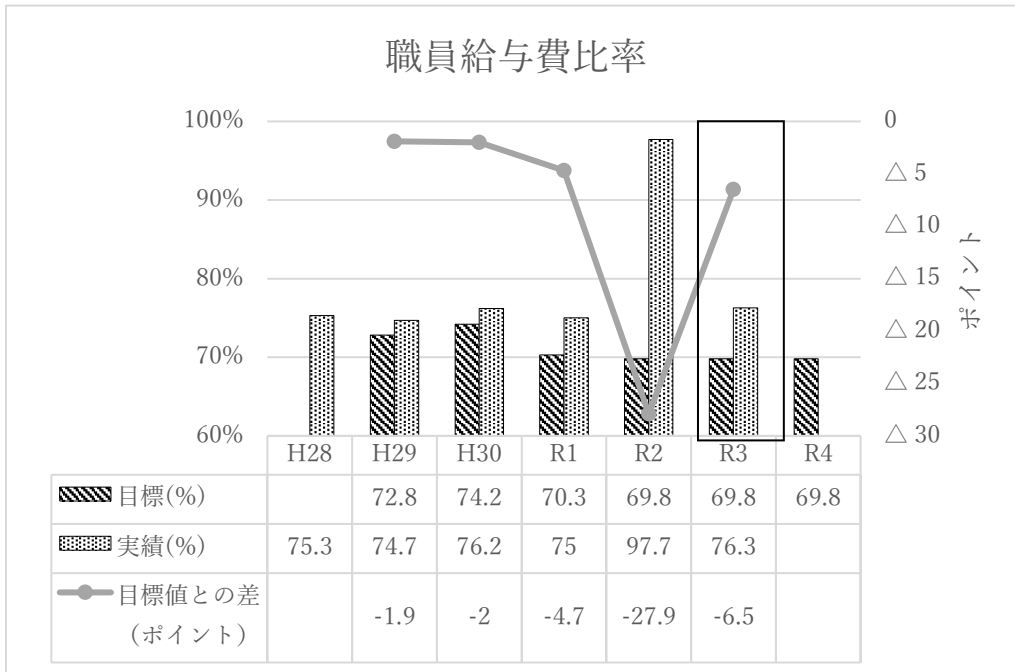
【実績値の算出方法】

$$\text{職員給与費比率} = \left( \frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \right) \times 100$$

1,068,771,615 円                      1,401,652,923 円

$$\text{後発医薬品使用率} = \frac{\text{後発医薬品の数量}}{\text{後発医薬品ありの先発医薬品の数量} + \text{後発医薬品の数量}} \times 100$$

131,185                                      19,056                                      131,185



意見	評価
<p>後発医薬品使用率は目標値を上回っているが、職員給与費比率は目標値を下回っており、Cと評価する。</p> <p>職員給与比率が高いと考えられるが、人件費削減には検討すべき点もあり、医業収支の改善や、適正な人員配置、経費等の見直しを図っていただきたい。</p> <p>後発医薬品比率について、目標値を達成していることは評価でき、引き続き後発医薬品への切り替えを進めていただきたい。</p>	C

③収入確保に係るもの

項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1日あたり入院患者数(人)	目標値			26.0	27.0	33.0	36.0	36.0	36.0
	実績		24.1	24.0	23.7	28.9	23.0	26.4	
	達成率(%)			92.3	87.8	87.6	63.9		
	実施状況	ワクチン接種が進んだことから、入院当初の個室管理を行う運用を見直し、より効率的なベッドコントロールに努め、前年度と比べて増加しましたが、目標値には達しませんでした。							
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
病床利用率(%)	目標値			53.1	55.1	67.3	73.5	73.5	73.5
	実績		49.1	49.0	48.5	59.0	47.0	53.8	
	達成率(%)			92.3	88.0	87.7	63.9	73.2	
	実施状況	入院患者数の増加に伴い、病床利用率も回復傾向となりましたが、目標値には達しませんでした。							
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
急性期病床平均在院日数(日) ※1、2、4	目標値			17.0	17.1	14.2	14.6	14.6	14.6
	実績		18.8	19.6	16.3	18.9	17.7	17.8	
	目標値との差			2.6日	△0.8日	4.7日	3.1日	3.2日	
	実施状況	診療報酬の施設基準である、平均在院日数21日以内を遵守できましたが、きめ細やかな退院支援を要する入院患者も多いことから、ほぼ横ばいで推移しており、目標値に達することはできませんでした。							
項目		年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
地域包括ケア病床平均在院日数(日) ※3、4	目標値					36.5	33.9	21.0	21.0
	実績				18.1	18.3	20.1	15.9	
	目標値との差					△ 18.2日	△ 13.8日	△5.1日	
	実施状況	地域包括ケア病床平均在院日数は、過去2年間に引き続き、目標値を上回ることができました。							

※1 日数が短い方が効率的な医療提供を行っているとは評価できる。

※2 年度実績（4月から3月までの合計）に基づき算出。

※3 地域包括ケア病床は平成30年11月から開始。

※4 短期滞在手術等基本料3（大腸ポリペクトミー）、保険外診療患者数を除いて算出。

【実績値の算出方法】

• 1日あたり入院患者数＝入院・在院患者延べ数÷365日

9,631人

• 病床利用率＝入院・在院患者延べ数÷（病床数×日数）×100

9,631人                      49床    365日

• 平均在院日数（急性期一般病床）

＝入院・在院患者延べ数÷{（新入院患者数＋退院患者数）÷2}

6,191人                      356人                      341人

• 平均在院日数（地域包括ケア病床）

＝入院・在院患者延べ数÷{（新入院患者数＋退院患者数）÷2}

2,542人                      153人                      166人

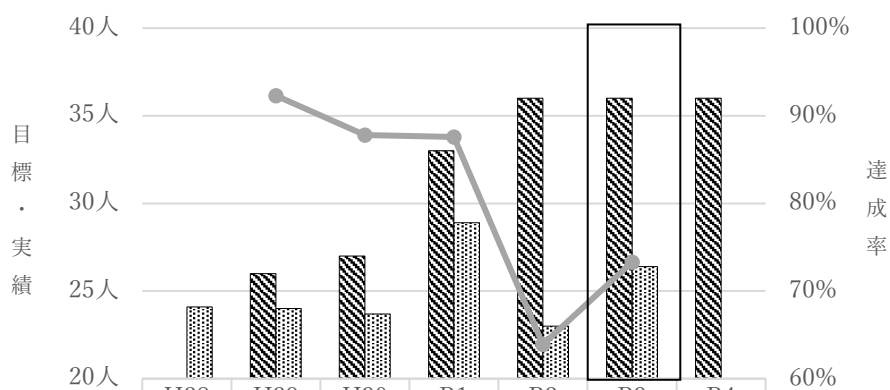
※平均在院日数の患者数は、保険外診療入院患者数等を控除した人数

◆ 実績値

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	前年度比較
延べ患者数	10,576人	8,400人	9,631人	1,231人
新入院患者数	684人	466人	577人	111人
退院患者数	679人	497人	572人	75人
地域包括ケア 病床延患者数	3,082人	2,457人	2,653人	196人

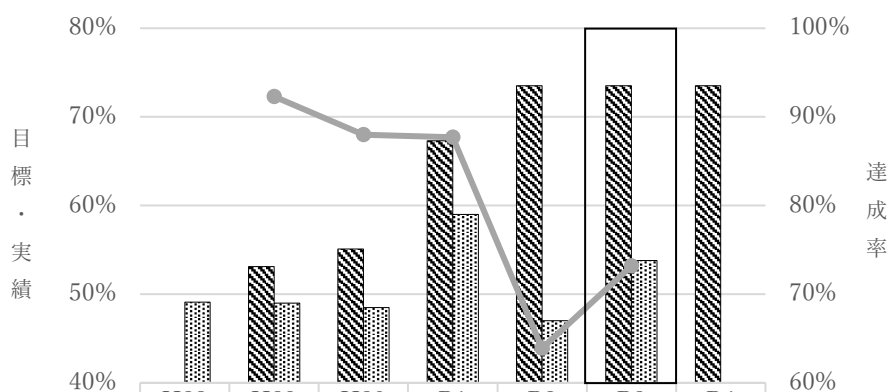
※1 入院病床49床中、地域包括ケア病床11床

### 1日あたり入院患者数(人)



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
目標(人数)		26	27	33	36	36	36
実績(人数)	24.1	24	23.7	28.9	23	26.4	
達成率(%)		92.3	87.8	87.6	63.9	73.3	

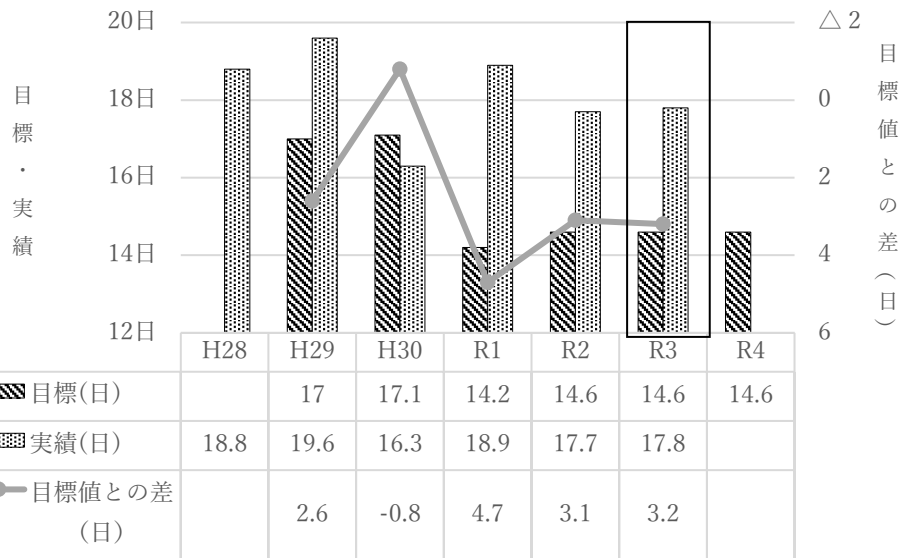
### 病床利用率



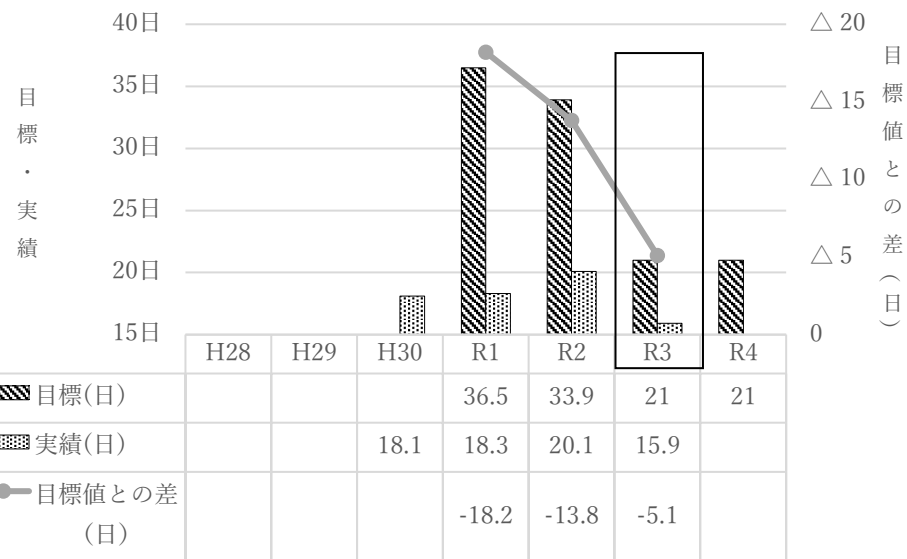
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
目標(%)		53.1	55.1	67.3	73.5	73.5	73.5
実績(%)	49.1	49	48.5	59	47	53.8	
達成率(%)		92.3	88	87.7	63.9	73.2	



### 急性期病床平均在院日数



### 地域包括ケア病床平均在院日数



意見	評価
<p>地域包括ケア病床平均在院日数以外目標値を下回っており、Dと評価する。</p> <p>入院患者数、病床利用率が低い理由を分析し、実績を上げていく工夫をする必要がある。</p> <p>急性期病床の平均在院日数については、内科系の病院であることを考えると、許容できる範囲と考える。</p> <p>地域包括ケア病床については、引き続き患者が安心して在宅復帰できるよう運営を行っていただきたい。</p>	D

(2) 数値目標以外の取組状況

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとして、内科発熱外来に注力するとともに、新型コロナウイルス感染症者に対する、点滴薬・経口薬の投与も取り組みました。また、新型コロナウイルスワクチン集団接種、個別接種の協力医療機関として予防接種を実施いたしました。

病棟においては、退院基準を満たした患者の受け入れを行い、後方支援に努めました。小児科においても発熱患児の診療はもとより、保育園や学校などでの集団PCR検査に協力しました。日曜日休日急患診療でも、新型コロナウイルス感染症の検査体制を整備し、速やかに診断・療養につなげられるよう努めました。

医師等の人材の確保については、令和3年度末に小児科医師の定年退職に備え、安定的に運営できるように小児科医師を2名採用いたしました。また、看護師については令和3年度末に2名退職したことから、現在募集をしているところです。

医療機器の計画的な導入については、耐用年数を経過し老朽化した「全自動化学発光免疫測定装置※1」や、「純水製造装置※2」等を導入しました。

※1 全自動化学発光免疫測定装置

感染症・腫瘍マーカー等の測定を行う検査機器。

肝炎ウイルス（B型肝炎、C型肝炎）感染症（梅毒）、腫瘍マーカー（大腸、肺等）。

※2 純水製造装置

分析装置に必要な純水を精製する装置で、全自動化学発光免疫測定装置に接続して使用するほか、他の装置にも使用する。

意見	評価
発熱外来、集団接種等、新型コロナウイルス感染症の対応を行っており、Bと評価する。 小児科医師を採用したことはよいが、安全な医療を提供できるよう、看護師確保にも努める必要がある。 引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、災害時への対応も含め、持続可能な病院経営に努めていただきたい。	B

資料

○令和3年度病院事業収支状況

病院事業収益

円（税抜）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
医業収益	1,434,165,301	1,049,641,882	1,401,652,923	352,011,041
（入院収益）	312,156,868	247,584,538	290,623,232	43,038,694
（外来収益）	563,427,941	476,022,331	590,195,165	114,172,834
（健康検診収益）	521,769,242	280,389,278	456,393,136	176,003,858
（その他医業収益）	36,811,250	45,645,735	64,441,390	18,795,655
医業外収益	420,205,109	969,070,771	436,318,256	△532,752,515
特別利益	0	19,198,680	21,883,307	2,684,627
計	1,854,370,410	2,037,911,333	1,859,854,486	△178,056,847

病院事業費

円（税抜）

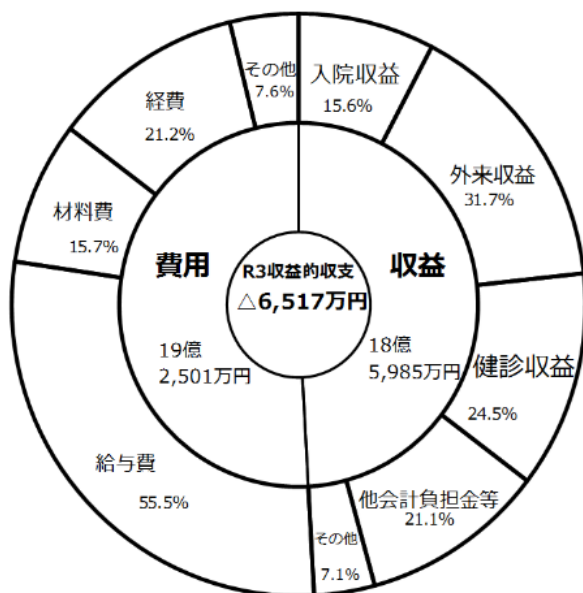
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
医業費用	1,846,272,667	1,774,363,729	1,873,001,911	98,638,182
（給与費）	1,075,617,329	1,025,939,709	1,068,771,615	42,831,906
（材料費）	313,182,767	293,111,712	301,486,797	8,375,085
（経費）	361,450,898	360,337,865	408,674,791	48,336,926
（その他）	96,021,673	94,974,443	94,068,708	△905,735
医業外費用	41,117,944	55,044,233	49,095,661	△5,948,572
特別損失	1,057,080	2,114,013	2,913,636	799,623
計	1,888,447,691	1,831,521,975	1,925,011,208	93,489,233

○令和3年度病院事業 入院・外来・健康健診状況

人

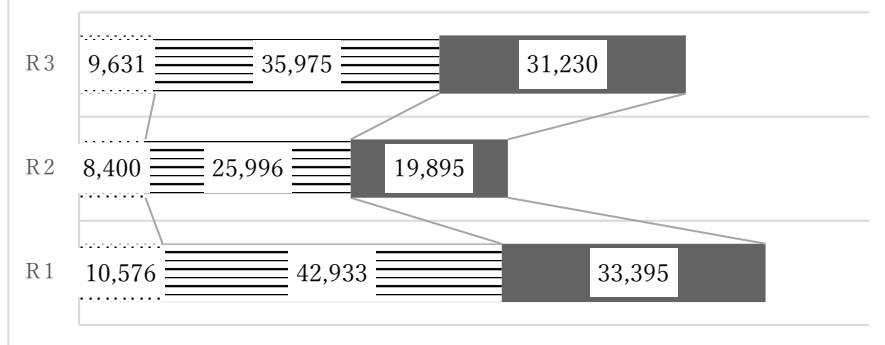
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
入院	10,576	8,400	9,631	1,231
外来	42,933	25,996	35,975	9,979
(内科)	(17,722)	(15,111)	18,604	(3,493)
(小児科)	(16,201)	(8,182)	12,598	(4,416)
(内科救急)	(105)	(32)	50	(18)
(小児夜間)	(3,440)	(1,207)	1,966	(759)
(小児深夜)	(1,509)	(518)	833	(315)
(休日急患)	(3,956)	(946)	1,924	(978)
健康検診	33,395	19,895	31,230	11,335
計	86,904	54,291	76,836	22,545

令和3年度病院事業収支状況



入院・外来・健康検診状況

※ 入院    ▨ 外来    ■ 健康検診



## 令和3年度コロナ関連実績

件

	コロナ検査件数			外来		入院
	PCR	抗原	合計	点滴 (ゼビュディ)	経口薬 (ラゲブリオ)	アフターコロナ 患者受入
4月	96	80	176			0
5月	163	79	242			0
6月	78	95	173			0
7月	125	94	219			0
8月	570	170	740			1
9月	283	114	397			2
10月	44	68	112			0
11月	41	62	103			0
12月	38	55	93			0
1月	531	451	982	6	8	0
2月	375	533	908	10	3	2
3月	393	571	964	15	4	3
計	2,737	2,372	5,109	31	15	8

※点滴（ゼビュディ）の投与：令和4年1月11日より開始

※経口薬（ラゲブリオ）の処方：令和4年1月12日より開始

件

	ワクチン集団接種				ワクチン個別接種			合計
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
実施日数	11	22	20	21	5	8	9	96
【市内】 接種完了	726	4,362	4,186	3,197	246	571	634	13,922
【市外】 接種完了	9	23	26	12	12	12	1	95
【市内】 予診のみ	0	2	4	1	0	0	1	8
【市外】 予診のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 (予診のみ除く)	735	4,385	4,212	3,209	258	583	635	14,017
	12,541				1,476			
うち、小児					29	54	62	145